災害に強い「まち」、強い「くに」とは…?(その2)

「危険な所」から「安全な所」に いろいろなモノが「移されて」いる ® ® ®

まず、「危険な場所」がどこかを考えます。そしてその危険な場所にあるいろいろなものを、 できるだけ「安全な場所」に移していきます。これができれば「まち」も「くに」も災害に強くなります。 どんな所が危険かと言えば…

- **1** 「津波が来る」と言われている海辺(しかも、堤防なし)
- 2 「洪水になる」と言われている川辺(しかも、ダムも堤防もない)
- **3**「地震が来る」と言われている「まち」(しかも、地震によわい建物)
- 4 「埋め立て地」(よく揺れ、液状化しやすい)
- **⑤**「急ながけ」の下(がけ崩れ、になりやすい)
- (この場所 (しかも、砂防ダムなし。土石流の被害にあいやすい)

考えてみよう☞ このイラストの

このイラストの 「まち」や「くに」、

何をどこに移動させれば、強くなるのか考えてみよう。

●ポイント1

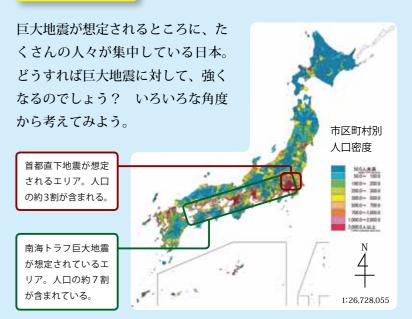
全てをすぐに移すことはできないので、何を 優先すればよいでしょうか?

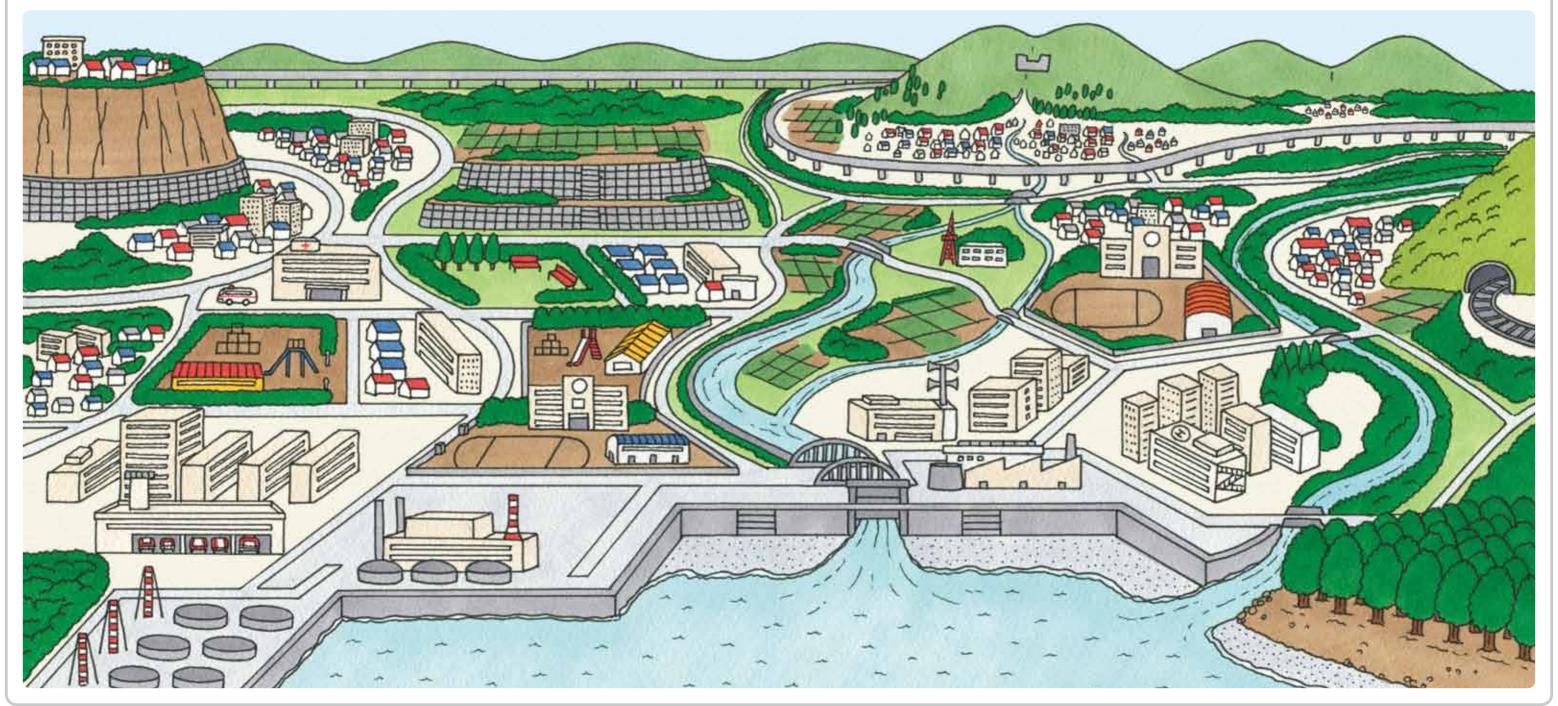
●ポイント2

移すことが無理な所は、どのように強くすればいいのでしょう?

(前のページなども見ながら考えてみよう)

チャレンジレベル





4